



第9回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

山口・防府地域版

R5.11.13 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心と高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

議長開会宣言



開会宣言する
柳居議長

議長

【山口・防府地域の高校生議員の皆さん】

(防府高等学校)

福田大岳君 村田陽奈さん

(山口高等学校)

西本琉晟君 有重悠雅君

(山口中央高等学校)

倉光和子さん 渡辺日和さん

溝部響子さん

(野田学園高等学校)

中脇萌絵さん 吉賀ゆらさん

高校生議員の自己紹介



本会議場で挨拶
をしました。

高校生議員からの質問及び執行部答弁

空き家の増加はわたしたちの生活に危険を及ぼす可能性を高めることから、空き家に関する対策は喫緊の課題です。

本年6月、空き家所有者の責務を強化し、空き家の活用や土地の売却・貸出を推進することを目的に空家法が改正されました。今後の空き家対策の展望についてお尋ねします。



質問に立つ
西本議員

答弁する
村岡知事

本県の空き家率は全国9位であり、世帯数が減少傾向にあることから、今後も空き家の増加が見込まれており、また、放置された空き家は、倒壊の危険や景観の悪化など周辺の生活環境に悪影響を及ぼすだけでなく、まち全体の魅力低下につながることから、その対策は喫緊の課題であると認識しており、県では、対策の主体である市町が行う、空き家の適正管理や利活用に関する取組を支援しています。

今後の空き家対策の展望についてですが、本年6月に空家法の改正が行われたことから、中心市街地や観光地等のうち、規制のある地域において、市町が空家等活用促進区域を定めることで、これまでできなかった、空き家の建て替えや、カフェやホテルなど別の用途への変更が可能となります。

これまでも、山口市の規制のない地域においては、行政と地域づくり団体が連携して、点在している空き家をコミュニティスペースやゲストハウスに改修し、地域の交流拠点として活用しています。

私は、この度の法改正により、こうした取組がさらに加速するものと考えております。空き家をまちづくりの貴重な資源として活用することは、まちの魅力を高める有効な手法であると考えています。

県としては、引き続き、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、市町や関係団体等が連携して行う空き家対策を積極的に支援してまいります。

西本議員（山口高）と渡辺議員（山口中央高）が、山口・防府地域を代表して質問をしました！

現在、山口県では定期券を購入できる場所は、県内に数か所しかない駅構内の「みどりの窓口」のみに限られています。

この問題点を改善するために、私は、学校での出張販売やコンビニに「みどりの窓口」を設置することが考えられると思いました。

JRは民間企業ですが、公共交通機関の担い手として、県の立場で強く要望していただきたいと考えます。



質問に立つ
渡辺議員



答弁する
村岡知事

現在、JRでは、業務効率化を図るため、対面窓口から自動発券機への切り替えを進めていますが、自動発券機での定期券購入については、オペレーターにつながるまでの時間がかかるなどの課題があります。

私は、学生の皆さんをはじめ、鉄道を日常的に利用される方が、身近な場所で簡単に定期券等を購入できるようにすることは、利便性の向上が図られるとともに、利用の促進にもつながる大変重要なことと考えています。

渡辺議員から御提案のあった定期券の出張販売やコンビニへの「みどりの窓口」の設置は、JRの「みどりの窓口」が減っていく中で、学生の皆さんの負担軽減になるとともに、鉄道を利用される多くの方の利便性が高まる、良いアイデアだと思います。

県としては、御提案のあったアイデアも含め、利用者の負担軽減や利便性の向上が図られるよう、今後とも、JRに対してしっかりと要望していきます。

第9回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

「選挙活性化に向けた政治への興味を高めるための質問箱の設置を求める意見書」

政治や行政に興味を持つきっかけをつくるため、そして、山口県の選挙投票率を上げるために、誰でも気軽に質問できる質問箱の設置を求める意見書を高校生議員47名全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:宇部鴻城高等学校 野村 楓さん)



提案理由を説明
する野村議員



全員で起立採決

決意表明

高校生議員を代表して、「山口県民の一員として持続可能な未来社会の創出に貢献し、『安心で希望に満ちた山口県』の実現のために、積極的に尽力し続ける。」と決意表明しました。



決意表明する
天野議員

(決意表明者:高水高等学校 天野 琥珀君)

記念撮影

